



広島国際学院
創立82年



新入生を迎え、それぞれに多彩な催し

特集 海外大学との連携	2
特集 教員免許状更新講習	3
新入生を迎えて	3~10
明日を創る未来の匠 工学部	4
知識と技が広げる可能性 情報デザイン学部	5
異文化に触れ未来を発見 現代社会学部	6
車のエキスパートへ 短期大学部	7
高校から発信	8・9
新任職員紹介	10
薬物乱用防止セミナー	11
「チーム自短」、全国制す	11
高校に総合学科を設立	12
オープンキャンパスを開催します	12
今後の主な行事予定	12

サマーキャンプでリーダーシップを養う（シーカヤック）

広 報

第78号

平成21年6月1日発行

URL <http://www.hkg.ac.jp/>

海外大学との連携

学長 今村 詮

今春、中国の2大学と協定を結びましたので、その概要を紹介します。

一つは、せいなん 済南大学国際教育交流学院(以下UJN)との協定で、3月4日に締結しました。済南大学は中国山東省済南市にある中堅クラスの大学で、学生数はおよそ3万2,000人という大規模大学です。情報デザイン学部の趙悦教授の友人が済南大学とコネクションがあり、趙教授との話し合いの結果、協定締結の話に至りました。中国の学術教育機関との提携に人脈が果たす大きな役割を痛感するとともに、趙教授のご尽力に改めて深い敬意を表する次第です。

協定の概要は次のようなものです。UJNで本大学への留学を希望する学生を募集し、UJNで1年間日本語教育を行います。そのあと本大学の入学試験を行い、合格者を迎え入れて教育します。その間の詳細な手続きについても種々協議が進められました。

協定締結のあと済南大学のキャンパスを案内されましたが、立派な図書館や情報関係の教育研究設備、少人数教育用に造られている教室など、教育水準の高さが伺えました。また学生寮も整備され、さらに教員の宿舎も用意されており、教育研究環境の充実随分エネルギーを割いていると感じました。

近い将来UJNから留学生が入学してきたときは、まず寮の設備を整えるとともに、本大学入学後1年間はアルバイトを禁止し、日本語および専門科目の教育をしっかり進め、卒業後に就職先が容易に見つかるような実力をつけさせる教育をする必要があります。UJNの本大学に対する期待が大きいだけに、この協力関係を持続するためにも、本大学の果たさねばならない責任の大きさを痛感しています。

もう一つの協定は4月3日に、ハルビン師範大学こうせい 恒星学院との間で締結しました。この大学は私立大学ですが、日本の私立大学とは異なり、黒龍江省立ハルビン師範大学傘下にあつて商学部、情報学部、外国語学部の3学部を擁する大学です。この大学は、中国で大学教育の急速な発展およびその教育水準の維持のために導入された教育システムによって誕生した大学と考えることができます。しかし経営的にも、教学の上でも、また教員人事の上でも磐石となり、2010年にはハルビン師範大学から晴れて独立する予定です。この大学の外国語教育部門主任である富鉄民氏と、現代社会学部の栗原理准教授との間で協定の話が進められ、本大学地域連携センターの石坂広樹准教授のサポートもあつて、締結に至ったものです。ここに栗原、石坂両先生のご尽力に謝意を表する次第です。



済南大学との調印式



恒星学院との調印式

この恒星学院の学生数はほぼ7,000名で、かなり多くの学生が日本語を学んでいます。栗原准教授と私が訪問したときに、大ホールを満席にした日本語専攻の学生から大歓迎を受け、日本に対する関心の高さをひしひしと感じました。協定には学術交流および学生交流の項目が含まれ、今後恒星学院の学生が本大学に長期滞在、あるいは編入による入学の可能性が考えられます。また日本語教育に関連して、本大学から恒星学院に学術交流で出向する教員も期待されています。

このような形での国際的な協定が、今後多くの大学との間で締結されることが望まれます。

教員免許状更新講習

教員免許状更新講習についてのご案内 ― 続報 ―

本大学では平成21年度教員免許状更新講習を下記の要領で開催します。

記

1. 講習の時期：8月3日(月)～8月7日(金)
2. 会場：広島国際学院大学 中野キャンパス
3. 講習形態の特色：必修講習は2日間セットで12時間、選択講習は受講者が取得している教員免許状や、現在の教育活動に関連する講座を1日6時間単位で18時間分を自由選択。(ただし、それぞれ定員があります。)
4. 必修講習の特色：教育研究、教育実践、及び教育行政等の各専門家による「教育の最新事情」について、全国的に実績が評価されている講師を学外からも多数招聘

講師予定者

- ・ 荒谷信子氏 小学校教員・教育行政職・東広島市教育長などを通して学校・学級経営を多面的・体系的にとらえる学校教育の専門家
 - ・ 鹿嶋真弓氏 NHK「プロフェッショナル-仕事の流儀」で全国放送もされたスーパーティーチャー、東京都の中学校教員
 - ・ 実績豊富な指導主事・校長経験者
 - ・ 国立教育政策研究所教育課程調査官(併任；文部科学省教育課程課教科調査官)
 - ・ 本大学を含めた3大学の教授
5. 選択講習の特色：本大学の特色である電気・機械・情報デザイン・現代社会の各専門を活かした「工業」「技術」「環境化学」「情報活用」「国際理解」にかかわる18講座を3日間で開講

各講座の内容は、本大学のHP <http://www.hkg.ac.jp/> をご覧ください。

○講習のお問合せ先：広島国際学院大学 学生部教務課

電話 082-820-2527 Eメール koushin@hkg.ac.jp

○教員免許状更新講習の制度については、[文部科学省のHP](#)をご覧ください。

新入生を迎えて

入学式【大学・短大】



入学宣誓式

広島国際学院大学大学院、大学と短期大学部の合同入学宣誓式が4月5日に挙行されました。

今村詮学長の入学許可宣言、新入生代表の力強い宣誓、来賓による温かい祝辞と、式は厳粛に盛大に執り行われました。今村学長は式辞で「一生の夢を見つけ、その実現に向け積極的に知識を吸収してください」と述べ、新入生を激励しました。真新しいスーツを着込んだ新入生たちの表情も、緊張の中にも期待と喜びがあふれていました。

体育館を後にする頃には、空は真っ青に晴れ渡っていました。咲き誇る桜の花とともに、新入生たちを学舎へと誘っているかのようでした。大学院生、大学生、短期大学部生と、それぞれに新たな学生生活の一步を踏み出しました。

【高校】

4月8日、広島国際学院高等学校第63回入学式が挙行されました。荻野次夫校長の入学許可宣言の後、新入生を代表し、普通科1組の村山駿君(昭和中学校出身)が「先生や先輩のご指導のもと、新たに出会う友だちとともに勉強やクラブ活動、学校行事などに励み、充実した3年間を過ごしたい」と力強く誓いを述べました。一方、荻野校長は式辞で「自分の未来像を追い求め、失敗をおそれず好奇心のアンテナを張り巡らせて3年間を過ごしてほしい」と語りかけました。鶴素直理事長は祝辞の中で、「心を分け合うこと」や「苦難や試練に耐え、それを乗り越えること」の大切さを説きました。

式典終了後は厳粛な雰囲気から一変、コンサートに。本高校吹奏楽部による歓迎演奏です。式場は一気に歓迎ムードとなり、校庭にも和やかな空気が漂う春爛漫の入学式でした。



高校入学式

明日を創る未来の匠

工学部



微生物利用の納豆作り

工学部の“MONOZUKURI”教育

— ものづくり創成科目 —

日本の伝統技術・技能の中には優れた“ものづくり”の技が息づいています。今日の日本の先端技術を支えているのも“ものづくり”であり、“MONOZUKURI”は英語にもなっております。

工学部では日本の匠たちの伝統の技を継承しながら環境調和型技術を目指しています。工学部のものづくり科目群(合計10単位)は、専攻・専門を超えた、1～3年次生の共同授業で工学部全教員がグループ別に指導・アドバイスをを行っています。周辺の他大学には例のない教育手法であり、本大学の教育理念でもあり技術者として最も重要な、「信

和・協同・実践」能力を育成することが主要目的です。

座学中心の授業から離れ、多少の“遊び心”の入った体験・経験学習を通して、学生の皆さんが活発に動き、動く中から社会で必要な知恵と能力を身につけます。写真に幾つかの授業風景を示しております。

授業での成果を本大学の立町キャンパスで行われたイベント等に出展し地域青少年の理科教育に貢献しているグループもあります。子供たちの質問には思いがけないものがあります。教わるより教える方が困難でもあり楽しみでもあります。また、企業と共に製品開発を行っているグループもあります。こうした実体験を通して学生の皆さんが実社会で必要な能力を楽しみながら身につけていきます。



屋上緑化と園芸(上右左)、環境ロボット開発(下左)、立町キャンパスでの青少年理科教育(同右)

卒業生の進路状況

昨年度も工学部から合計120名が卒業していきました。昨今のニュースで取りざたされている就職状況の急変にもかかわらず、この卒業生の内、進学および進学希望者を除く就職希望者94名は、全員が希望した企業に就職していきました。産業別には鉄鋼、金属、一般機械、自動車、電気、電子デバイス、食品などの製造業を中心に、建設業、サービス業など種々の企業です。また、一部は広島県警など公務員として就職しました。これは、それぞれの学科で実施されている基礎から応用にいたる4年間のきめ細かい教育の成果と、これに応えた学生達の努力の賜物と思います。さらに、大学で修得した知識をベースにして、より高度な技術を学んで先端の研究を行う目的で、本大学大学院へ9名、広島大学大学院へ4名、広島県立大学大学院へ1名が進学していきました。

新入生を迎えて

新入生オリエンテーション

【工学部】

工学部総合工学科では、新入生を迎えて、各専攻で工夫を凝らしたオリエンテーションが講義のない土曜日に行なわれました。バイオ・リサイクル専攻では、新入生歓迎パーティーの形式で、学生会館に集い、教員や先輩学生のユーモアあふれる自己紹介を交えた交流が行われました。機械システム専攻では、市内ボーリング場に集合、歓談しながら久しぶりの汗をかいた後、場所を移して昼食をとりながら、入学以後の様子や生活についての話を中心に新入生と教員の親睦を深めました。電気システム専攻は立町キャンパスに集合、専攻内容の説明と相互の自己紹介の後、レストランに移動してランチを取りながら今後の大学生活についてにぎやかに歓談しました。これらの行事によって、新入生の多くは不安が少し解消し、友人が増えた様子が感じられました。



ゲームの合間にくつろぐ

情報デザイン学部 知識と技が広げる可能性

CCNA資格試験—今年も絶好調

本大学は2000年に、中国地区で他大学に先駆けて、シスコ・ネットワークングアカデミー・プログラムをカリキュラムに導入して早9年になりました。CCNA教育の老舗として、蓄積してきたノウハウと適切な教育指導により、毎年数多くの合格者を輩出してきました。今年も合格者数が順調に伸び、好状態が続いています。合格した学生のナマの声を紹介します。



宇山 道子さん

難易度が高い資格ですが、時間をかけて勉強をすれば必ず良い結果は出ます。CCNA受験で得られた自信と資格を生かし就職活動に臨みたいと思います。
(大東高校(島根県)出身)

「何かネットワークの資格が欲しい」と思い、この授業を受けました。座学があり、実習実験があり、また試験対策もしっかりで充実した授業でした。世界どこにでも認められる資格が取れて、素直にうれしいです。
(中国 上海市出身)



袁 牧君

マンガ・アニメ・デザイン・イラスト・声優・ゲーム・CG系進学相談会

4月18日(土)13時から16時、広島国際会議場で「マンガ・アニメ・デザイン・イラスト・声優・ゲーム・CG系進学相談会」が行われました。本大学の他に3大学、1短期大学、3専門学校が参加。来場者には女子生徒が多く、会場は大変賑やかで活発な雰囲気でした。会場にアニメキャラクターコンテストも併設されていたためか、イラスト関連でたくさんの質問を受けました。高校生へ本学部のアニメ・デザイン・ゲーム・CGの存在を示すことが出来ました。来場者の中から1人でも多くの高校生が本学部に入學し、アニメ・デザイン・ゲーム・CGの各分野で活躍していただきたいと願っています。



進路説明会

せらワイン3周年記念ラベルデザイン



せらワイナリー3周年記念ボトルデザイン



せらワイナリー3周年記念イベントにて(左端が松下さん)

本学部学生がラベルデザインした、せらワイナリー(広島県世羅郡)の3周年記念ワイン(ロゼと白)が、2009年4月11日(土)に発売されました。デザインは、「3周年」を3つの時計で表し、発売される「春」をブライトトーンの色調で表現しています。4月12日(日)には、学生デザイナー4名が、せらワイナリーのイベントに参加し、直接ユーザの質問にも答えて来ました。デザインをした松下智幸君(広島工業大学高校出身)は3月に本学部を卒業し、現在は広島市内の広告デザイン会社でデザイナーとして活躍しています。

新入生を迎えて

【情報デザイン学部】

5月9日(土)9時20分から立町キャンパスで情報デザイン学部新入生オリエンテーションを開始しました。写真のように、まず今日の計画を参加者の皆さんに説明し、9時半ごろにボーリング場ROUND1に移動しました。

今年は18のチュータークラスに分かれてボーリングを行い、12時には立町キャンパスに戻って昼食を摂りました。昼食を摂りながらの自己紹介では、お手玉を演じる学生が居たり、元気で活発な紹介があったりして盛り上がりました。

13時半すぎに「ひろしま美術館」へ移動し、鑑賞を15時少しまえに終わりました。



立町に集うニューフェース

異文化に触れ未来を発見

現代
社会学部

現代中国の文化的事情 —「アジア社会」における中国と日本の文化交流—

国際化が多面的・多角的に展開する現代社会。教員や学生による国際的な研究・交流を進めている本学部では、3月1日と8日に立町キャンパスで「現代中国の文化的事情—「アジア社会」における中国と日本の文化交流—」という企画を実施しました。

1日は現代中国を理解する公開講座でした。北川建次先生(前本学部教授)が「中国の世界遺産」、古関喜之先生(本学部講師)が「台湾農業と農産物の輸出戦略」、沼野治郎先生(前本学部教授)が「重要性が増す中国語—コミュニケーションの方法—」について話しました。

8日は大学講師で映画評論や文化論でもご活躍の袁葉先生が「中国人と日本人、心の波長—『間』の文化をとおして—」と題し、「間」の視点での日中の文化や風習、発想法などの違いについて講演しました。続いて袁先生と著名な二胡奏者で現在広島在住の趙栄春さんによる文化論と音楽論について対談、最後に趙さんによる二胡の演奏を楽しみました。

2日間で100名近くが入場。日本と外国の文化の違いを理解することの重要性や、身近に外国文化に親しめることを学んでいただけました。



二胡を演奏する趙さん



最後のクラスで先生たちと一緒に。「英語が上手になった!」という余裕を感じます。

オレゴン研修

田村沙織さん(3年・鈴峯女子高校出身)、橋本可葉さん(3年・広島県新庄高校(現:広島新庄高校)出身)、北條武君(3年・広島県瀬戸内高校出身)、そして、前川靖奈さん(3年・大学検定)が米国オレゴン州にあるオレゴン州立大学で9日間の『オレゴン言語文化研修』に参加しました。

5セントと25セントの違いが分からずレジでマゴマゴしたり、ハンバーガーが大きすぎて口に入らず目をシロクロさせたり、レストランでの注文に英語が通じるかオドオドしたり、ホームステイ先では大きな飼い犬に振り回されグタグタになったりで大変だった4人。でも自国を離れ、短い間でもオレゴン州立大の学生をしている彼らは自信に満ちていました。残り5日は英語学習に頑張った

皆へのご褒美に、スケールの違う列車に驚きながら飛び乗りカリフォルニア旅行へ。サンフランシスコでは急坂をローラーコースターのように走り回り、ゴールデンゲートブリッジを見ながら特大チョコレートパフェとカニを完食。ロサンゼルスではハリウッドでブランド品ショッピング。最終日にはミッキーやドナルドが待つディズニーランドで楽しい時間を過ごしました。

思い出いっぱいの2週間を思い出しながら微笑む4人。来たときよりも自信に満ち、少し大人になった学生達は輝いていました!

新入生を迎えて

【現代社会学部】

本学部では4月6日に立町キャンパスで学科オリエンテーションを行い、昨年度と同じく場所を移してボーリング大会を実施しました。

午前中、教務関係のガイダンスを受けた後、ゼミごとに教員も交え弁当を食べました。午後は近くの広島パークレーンへ移動。学生と職員が一緒になって1人2ゲームを楽しみ、汗を流しました。ゼミ別に平均得点を競い、優勝した岡部ゼミにトロフィーが授与されました。同ゼミの学生および平均スコアの上位10名には図書券が贈られました。

初めて出会う仲間に、新入生も当初は緊張した面持ちでしたが、一緒にボーリングを楽しむ間にお互い打ち解け合い、新年度へと和やかなスタートが切れたようです。



ボーリングで和気あいあい

3冠達成!

受験者全種目合格率100%

1級小型(筆記)・2級ガソリン・2級ジーゼル

1級事務局 越智三千彦 2級講習事務局 野吹 幸男

3月22日に行われた2級自動車整備士登録試験の結果は、ガソリン・ジーゼルとも悲願である受験者全員合格、また超難関の1級小型(筆記試験)は、専攻科創設以来5年連続100%という快挙を成し遂げました。

自動車工業科では、2年生前期から3級程度の復習を兼ねた前期講習会を実施し、基礎学力の向上に努めています。後期からは本格的に自動車整備振興会主催の実技試験免除講習会が始まり、学科講習や実技講習あるいは模擬試験を今年の2月まで実施しました。また、3月からは模擬試験の回数を倍に増やし、間違った問題は自学自習の勉強会を取り入れて理解を深めたり、その結果を掲示したりして自分の実力が把握できるようにしたので、学生もやりがいを感じて真剣に取り組んでいます。

前期から実施している個人指導は、自主的に参加した学生も含めて最終的には70名に達しました。このことも、合格率向上の大きな要因となっています。

専攻科の1級試験対策は、2年生前期から少しずつ行い、後期には模擬問題を実施するなど1年間にわたり対策をしました。登録試験前の2月、3月は毎日模擬試験を行い教科書の理解度を高め、恒例の卒業式後の最終模擬試験では満点や高得点で終わりました。試験当日の朝、会場に集合し勉強した法規が出題されるなど、最後まで努力した成果に思えました。



熱心に個人指導を受ける学生

	卒業生数	受験者数	合格者数	合格率	備考
1級小型(筆記試験)	3名	3名	3名	100%	※1級と2級ガソリンは、卒業生全員が合格しました。
2級ガソリン	98名	98名	98名	100%	
2級ジーゼル		46名	46名	100%	

就職も安心! 不況に強い「自動車整備の仕事」



就職指導の様相

折からの不況で新車の売れ行きが伸び悩んでいます。車の買い換えは高くつくため、今の車に我慢して乗る人が多いのです。車検を受けたり、悪いところを整備したりして乗り続けても、新車を購入することに比べれば安価で済みますので、必然的に整備需要が多くなります。また、長く乗れば故障も起きたりして、点検が必要になります。その結果、専門知識と技術を持つ整備士の需要が高まり、就職内定率も上向くのです。

本短大の卒業生の多くが、自動車整備業界に進み活躍しています。来春卒業予定生の今年4月までの内定率は既に53%。好景気だった昨年同月(58%)、一昨年同月(47%)とほとんど変わりません。自動車整備業が不況に強い職種であることが、この数値からも伺えます。

新入生を迎えて

【水無月祭について】

短大学事課長 竹中 常雄

本短大では、毎年6月の第一土曜日に学友会主催で水無月祭を行っています。今年も6月6日(土)に、上瀬野キャンパスの体育館でソフトバレーボール大会を開催します。

昨年行われた大会では短大学友会が中心になり、出場チームの募集を行いました。1チーム6人構成での参加です。仲の良い友達グループやサークルグループ、学年グループ等に教員若手チーム・教員ロートルチームが加わり、トーナメント形式で楽しい試合が行われました。1位から3位までには賞金があり、賞金を獲得したグループは試合後これを昼食代の一部に食事会などして、より親睦を図っていたようです。



昨年の水無月祭より

高大人事交流

本高校では36年前より、ハンゲル講座を中心として普通科2年生が履修する2時間連続の選択講座が週1回開講されています。ハンゲルのほか、茶道、美術、英会話など10講座の中から好みの講座を選択履修する制度で、普通科を特色づける授業です。とりわけ数年前より、本高校生徒の系列大学に対する理解を深めるために、文系の生徒は現代社会学部の先生による、「おもしろ社会ウォッチング」、また理系の生徒は工学部・情報デザイン学部の先生による、「おもしろ技術体験」と称する授業を開講しています。平成15年度より実施された新学習指導要領で創設された「総合的な学習の時間」の先取りでもあったと自負しています。



缶バッジ製作実習

今年度より、これまでの高大連携をさらに強化し、相互に人事交流し授業を展開することとなりました。高校から大学へ教員が派遣されることは今年度が初めてです。2名の教員が学生の教科指導に当たっております。一方、大学からは、これまでの「おもしろ……」講座に加えて、工学部、情報デザイン学部、そして現代社会学部の3学部の先生が総合システム科の2年生を対象に授業を行っています。その内容は、実験や実習に重きを置いた授業です。例えば、バイオ燃料をつくる実験からバイオテクノロジーの理解、自分たちでデザインした缶バッジを製作する実習などから情報デザインの社会的役割を考える、そして商品の製造販売などのシミュレーションを行う中で意志決定能力や科学的分析力の向上を目的とするなど、生徒たちの得難い経験ができる講座となっています。



米粉から水飴を作る実験

始まったばかりの「高大人事交流」。この交流事業が高校、大学の双方にとって実りのある事業になりますよう、更に充実・発展することを期待しています。

藤花、かほる

一昨年の春、学院創立80周年を記念してPTAと同窓会から「藤棚」をご寄贈いただきました。“緑”と“くつろぎ”を提供する場として、1号館中庭に設置されました。上手く根付いてくれましたが、それでも昨年は“蔓を伸ばす年”でした。花房は20本ばかりだったでしょうか。緑もそれほど多くはなく、木陰も小さなものでした。



美しく咲き揃った藤の花

ところが今年、花房の数は昨年の20倍はあるのでしょうか。感動を覚えるほどの花の多さです。PTA幹事会の開かれた4月18日、幹事の皆さんに花房の長さ25cmにも伸びた薫り高い見事な紫花を鑑賞していただくことができました。

PTA総会(5月9日)の日、花の散った藤棚は、豊かな緑陰を保護者の皆さんに提供してくれました。また、昼休みなどには、生徒たちがベンチに腰掛け語り合う姿も見られ、楽しい憩いの場にもなっています。

新入生を迎えて

－ 新入生の声がこだました江田島の海 －

今、学園には新入生の元気な声と活力があふれています。「何事にもチャレンジ～諦めずに努力しよう～」を学年目標に4月にスタートした1学年です。海も山も色鮮やかな5月、総合システム科129名(22～24日)と、普通科296名(24～26日)は江田島での集団宿泊訓練に取り組みました。



オールと心をついに！(カッター訓練)

宿泊訓練の内容は、①カッター訓練、②体育祭の練習、③学習活動、④レクリエーション等と多岐にわたりました。カッター訓練では、艇をまっすぐに進めるために、全員のオールと心をついに合わせることの難しさとすばらしさを体験・体感・体得。体育祭の練習も、全員で協力して一つのことを成し遂げることが喜びにつながることを学びました。そして

硬式野球部 in 沖縄

3月、野球シーズンを迎え、今年も「沖縄交流試合」に参加させていただきました。昨年秋ベスト8の悔しさをバネに、今期に掛ける強い気持ちで取り組んだ冬季トレーニングや実戦練習で培った力を試すことのできる沖縄交流試合です。

東北から青森光星学院、関東から横浜隼人、また近畿から龍谷大学付属平安など、沖縄県外から20校以上が集まりました。今シーズンの自校チームの力を評価・確認する大切な交流試合です。各校は選抜チーム(Aチーム)と教育チーム(Bチーム)に分かれ、それぞれで対戦します。

本高校Aチームは、昨年の沖縄秋季大会ベスト4の沖縄尚学や沖縄水産などのAチームと9試合を戦い、結果は6勝3敗。Bチームは沖縄尚学や龍谷大学付属平安などと対戦しました。両チームとも高い意識を持った交流試合を行うことが出来たと思っています。チーム力は昨年に比べ、かなり向上しているように感じました。全国大会に出場する学校の選手たちと対戦し、また生活をともにする中で野球への意識の持ち方、日常生活の過ごし方、そして一球に対する心の強さなど、自分たちには不足していることが幾つもあることを、選手一人ひとりが実感したのではないかと思います。この沖縄交流試合で得たことを、今後の学校生活と練習に生かしていきたいと思っています。

最後に、毎年この沖縄交流試合への参加を認めてくださっている学校関係者・先生方に感謝し、夏の選手権に向けチーム一丸となって努力いたしますので、一層のご声援をよろしくお願いいたします。



夏の大会もチーム一丸で臨みます

「第56回中国高校柔道大会男女団体戦出場達成!!」

試合で勝つ喜びと、試合に勝つための努力と我慢が実り、数年ぶりに男女ともに団体戦で中国大会出場達成。

4月24・25日に行われた中国大会広島県予選大会にて、念願の男女そろって団体戦で中国大会への出場権を獲得しました。ここ数年は、男女とも選手不足の影響で男子または女子のみの出場でしたが、昨年11月は中国新人大会へ男女団体出場を達成しました。女子団体は予選リーグを突破し決勝トーナメント戦へ出場し晴れて中国第5位となりました。そして、この度の「中国高校柔道大会」男女団体戦への出場権獲得です。



「努力に勝るものなし」、
全国目指し練習を重ねています

広島電機大学附属時代は、中国大会では男子が団体戦・個人戦の上位進出を果たし、さらに女子においては個人優勝・女子団体準優勝を達成するなど、輝かしい歴史があります。また、全国大会においても常連の上位進出校として名高い存在でした。しかし、近年は今一步のところで上位進出を逃してしまいました。

現在、部員は初心者が多く、入学時は上位をねらうだけの実力は備えていませんが、部員一同が努力と団結力を忘れず毎日の練習に対して真剣に取り組むことにより、その成果が現れてきました。

部員たちは「努力に勝るものはない」と、努力すれば成果が現れることを信じ、毎日の練習に課題を持って反復練習に励んでいます。“全国”への夢を持って!!!

新入生を迎えて

学習活動の取り組みでは、一人ひとりの学習方法や学習態度を振り返ることに重点を置きました。

カッター訓練での水しぶきとかけ声と、体育祭練習での全体の号令と個人のかげ声と、そして学習活動では静かな自習時間と自己点検と。一年生たちは全体と個人とその2つの面から、新入学の今を見つめることが出来たように思います。三日間は生徒たちの自主的な行動を育む契機となったようです。緊張感と達成感にあふれた二泊三日の集団宿泊訓練が終わりました。新入生にとっては初めての大きな校外での学校行事でした。この集団宿泊訓練は、これからの学園生活に大きく反映され、一人ひとりの成長につながるものと期待しています。



息ぴったりと組体操(体育祭練習)

新任職員紹介 — はじめまして よろしく —

なががわ のりとし
中川 紀壽
総合工学科教授

広島大学で21年、その前の神戸大学での18年と合わせて、合計39年間、機械の振動・音響関連分野の教育・研究に携わってきました。学部では機械力学、産業機械関連の科目を、大学院ではロボット工学特論を担当します。よろしくお願いたします。



まえだ とおる
前田 徹
自動車工業科教授

自動車用エンジン他の開発設計に38年携わった経験と幾許かの精進してきたことを元に、エンジン等の講義をします。苦しい勉強の中に楽しみのあることを学生と共有化して行きたいと考えています。



たにおか あきら
谷岡 彰
自動車工業科教授

教育界で働くことを自ら選択し、今度、自動車短大部でお世話になります。学生の皆さんの基礎知識の修得に加え、社会に出て自立していく資質の鍛練の指導が私の役割と理解しています。銜とくいを持たず真正面から取り組んで参ります。



かわさきち えみ
川崎千枝見
総合工学科講師

留学生対象の日本語科目を担当します。日本語学習の指導・支援をはじめとして、留学生の皆さんが日本での生活を楽しみ、有意義な学生生活を送れるようサポートしていきたいと考えております。よろしくお願いたします。



かねだ たかこ
兼田 貴子
情報デザイン学科講師

今年度より、情報デザイン学部にて講師として就任いたしました。専門は、メディアアート、映像などです。本大学では、アニメーションや映像に関する科目を担当しています。アニメーションや映像をつくる楽しさや面白さを皆さんに伝えていけるように努めて参ります。どうぞ、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願申し上げます。



まつもとあすか
松本麻寿香
高校教諭

今年度より、5年目の勤務となります。専任教諭として初心に返り、常に学ぶ姿勢を忘れず、生徒と共に前進したいと思ひます。また、『教育は愛なり』の建学の精神のもと、愛を持って生徒たちと接していこうと思ひます。どうぞ、よろしくお願いたします。



やましな りょう
山科 亮
高校教諭

このたび専任教諭としてお世話になることになり、さらに身の引き締まる思いです。生徒の多くの声に耳を傾け、諸先生方をお手本にし日々成長していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いたします。



きむら たもつ
木村 完
学生部現代社会学部就職課長

国際学院の風に吹かれながら、やっと少しずつ慣れてきたと思ひますが、まだまだ目の前の仕事をこなして行く日々が続いています。微力ながら、学生への支援、学校への貢献に努めて参ります。よろしくお願いたします。



おう しょう
王 晶
学生部学生課事務職員

2001年9月日本へ参りまして、7年間留学生生活を送っております。7年の間には苦しいことや楽しいことがいっぱいありました。留学生担当の私は、この7年間の経験を生かし、出来る限り留学生たちを支援したいと思ひます。



新入生を迎えて

初年次教育「自己の探求Ⅰ」実施

4月3日と4日、中野キャンパスにおいて、本大学・本短大の新入生が、学外特別講師の提供する初年次教育プログラム「自己の探求Ⅰ」を受講しました。自己分析や自己紹介、ゲーム形式を交えた話し合いなどをグループ活動として体験し、最後に、相互の印象や今後へのアドバイスをカードに記して交換し、2日間の授業をしめくりました。受講者は、楽しく自己理解するとともに、入学式前に同級生としての絆を深めました。



初年次教育

サマーキャンプ

本大学では夏、新入生向けに生涯スポーツⅠ(マリンスポーツ&キャンプ実習)を開講します。履修学生は4、5人ずつの生活班に分かれ、海浜での自炊テント生活を行い、親睦を深めると共にキャンプ技術習得に努めます。昨年は呉市蒲刈町泉民の浜周辺にて、シーカヤック、ウインドサーフィン、スクーバダイビング、ウェイクボードなどのマリンスポーツを体験しました。これらの体験が今後の学生生活をより豊かなものにするきっかけとなり、リーダーシップを醸成すると共に、趣味として生涯定着することになれば幸いです。



サマーキャンプ

❌ 薬物乱用防止セミナー ❌

最近、若者の間で大麻をはじめとする薬物汚染の進行が大きな社会問題として取り上げられています。ちょっとした興味から将来を担う若者が一生を棒に振るようなことがあってはならないとの強い決意のもと、4月7日に薬物乱用防止セミナーを中野キャンパスと上瀬野キャンパスで実施しました。

開催にあたり、広島市で薬物乱用防止活動に取り組まれている「広島フェニックスライオンズクラブ」の全面的な支援をいただきました。講師として広島県薬務課の松岡俊彦主任専門員と、元麻薬取締官で(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターの神垣鎮氏をお招きしました。両氏は「大麻は害が少ないといった誤った情報が流れている。正しい情報を見に付けてもらいたい」「一度使用すれば依存性が残り、完全な治療法もない」など、具体的事例を挙げ説明されました。

両キャンパスで500名を超える学生が参加。「薬物に対する安易な気持ちは禁物」「決して手を出さないようにする」などと感想を述べていました。

NHK、広島ホームテレビ、中国新聞でこのセミナーが大きく報道されました。



薬物乱用防止セミナー

「チーム自短」、全国制す —全国トヨペットサービス技術コンクール—



環境対応車と記念のツーショット(大田さん)

去る4月18日に行われた「第29回全国トヨペットサービス技術コンクール」において、本短大から巣立ったエンジニア2名が中国ブロック代表として出場。大田健二さん(平成14年卒)がメンテナンス競技で優勝に輝いたほか、児島健一さん(平成12年卒)も故障診断競技で優秀賞を獲得しました。大田さんは優勝を告げられた瞬間「びっくりした。まさか優勝できるとは思わなかった」とのこと。また「目標を持ち努力して」と後輩を激励しています。

なお、監督とコーチも本短大の卒業生と、「チーム広島自短」による栄冠となりました。コンクール監督を務めた二川正教さん(平成3年卒)は、次のように述べています。

サービス技術コンクールは販売チャネルごとに2年間隔で行われ、メンテナンス競技・故障診断競技の2種目で、全国52社のトヨペット店から各競技で地区大会を勝ち抜いた選手15名が決勝に臨みます。今回で連続5回入賞(優勝2回、準優勝2回)の実績を挙げることが出来ました。お客様を第一に考えたメンテナンス、故障診断を実践する「広島トヨペッらしさ」を強調し評価されたのが今回の勝因です。安心して乗っていただける接客・整備を心がけて日々の業務や訓練に取り組み、大会でも実践したことが優勝に繋がりました。

結果を残すには、もちろん厳しい訓練が必要になります。出場選手の選出はまずエンジニアに立候補させ、学科テスト・実技テストにより決定します。大会の1年前から選手は本気で色々な勉強や訓練を行います。選手を経験したエンジニア達が「もう一度やれ、と言われても無理です」と言うほど厳しいものですが、この経験は本人を大きく成長させます。当社にとっても大きな財産となり、出場経験者はサービスの中心として頑張っています。

最後に、何事も目標を持って取り組むことが大切です。これからエンジニアになろうとしている学生の皆様は、在学中に学ぶことをしっかり修得して下さい。「基本知識、基本作業、安全作業」これはエンジニアの基本です。基本が確実に出来ないと最新技術についていけません。また、お客様に満足していただける整備も出来ません。

未来のエンジニアの皆様、お客様から頼られるエンジニアを目指して下さい。



同僚からのエールを記した横断幕を背に
左から上宮コーチ、大田さん、児島さん、二川監督

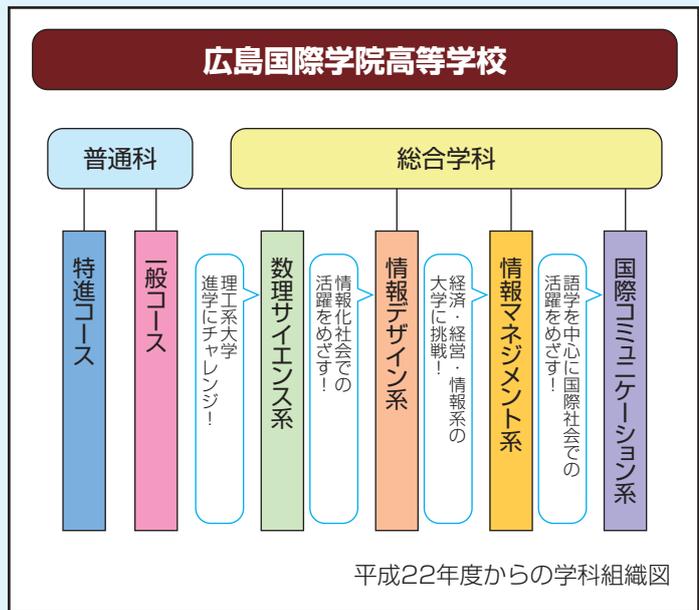
新たな特色教育にむけて高校に総合学科を設立

本高校は、創立以来、工業科を中心に産業界へ多数の卒業生を輩出してきました。その後、普通科を併設し、大学進学に重点をおいた進学指導を強化するなど、常に時代のニーズに応える教育活動をおこなってまいりました。社会状況の変化に伴い、教育のあり方や方法を斬新に創造していかなければならない時代を迎え、「もっと“個を大切に”真の“生きる力”を育てたい」という思いがこのたびの総合学科設立に結びつきました。

本総合学科は、二つの大きな特色を持っています。一つは大学進学を第一の目標としながら、情報や簿記の資格取得を行い、学力と実務力の両面を備えた人材を育成することです。本高校にはすでに情報関係の諸設備があり、情報教育のノウハウも持っていますので、これを生かすことができますし、簿記を加えることは、実務面では大変役に立ち、将来の職業選択の幅も広がってくるものと思います。一方、難しい専門教科を省き、資格取得のための講座を開設し、一般教科に重点をおいた指導を行います。この資格取得は、国公立大学をはじめ多くの大学受験に生かすことができます。

二つ目に大学の先生による講座を開設し、最も新しい内容で、私たちのなすべき課題や研究目標を話していただきます。自分のやってみたいことを発見したり、職業観・勤労観・人生観を養うことができ、将来の進路設計に大いに役立つものと思います。予定講座は先端科学、マーケティング、バイオテクノロジー、国際関係法I・II、異文化論、中国語会話などです。

また、他校の総合学科と大きく異なる点は、資格講座の選択を多く取り入れ、一般主要教科は目的や能力に応じて難易度を選択できるようにしています。1年次には自分の進路を考える時間を十分取り、2年次から進む系列を選択します。2年次からは4系列(数理サイエンス系、情報デザイン系、情報マネジメント系、国際コミュニケーション系)に分かれそれぞれの特色ある教科、科目を履修していきます。画期的「総合学科」を創るべく、来年度にむけて、着々と準備を続けています。



☆☆☆ オープンキャンパスを開催します ☆☆☆

次の日程でオープンキャンパスを行います。是非ご参加下さい。

大学 **7/5(日) 8/2(日) 9/12(土)** 短大 **6/28(日) 7/26(日) 8/23(日) 9/27(日)** 高校 **9/27(日)**
 10:00~15:00 10:00~14:30 10:00~12:00

★ 今後の主な行事予定

全学休業
8/12~15

大学・短大 水無月祭 (短6/6) ソフトボール大会 (大6/7) 学外展 (6/13~14)
 学内献血 (短6/18) 前期末試験 (工・情8/1~7 短7/28~31)
 夏期休業 (工・情8/8~9/16 現8/6~9/19 短8/6~9/9) 高城祭 (10/17~18)
 高校 体育祭 (6/20) 遠足 (6/26) 期末考査 (7/3~7) クラスマッチ (7/16~17)
 終業式 (7/18) 保護者対象入試説明会 (8/29) 始業式 (9/1)

この広報誌はホームページでご覧になれます。 <http://www.hkg.ac.jp/>

高校生以上の方に図書館を開放しています。 詳細は図書館までお問い合わせ下さい。TEL082-820-2536